



於保

山本

ありが隊新聞



2月の活動報告

山本亜矢

3月9日に地域おこし協力隊、集落支援員の活動報告会が開催されました。ご来場いただいた皆様、ありがとうございました。

【農林業公社にて】

11月末からほぼ毎日向き合ってきたネギの収穫と出荷が2月上旬にようやく終りを迎えました。毎日埃まみれになりながら切つて詰めてを繰り返して、いっ少々飽きがちにはなっていました。いざ終わるとなるとやっぱり少し淋しいもので。ネギの出荷作業ではストーブをつけて暖かい状態で作業ができること、終わった後雪の残るあけび園での剪定ということがわかっていたのも、ネギの出荷の終わりが名残惜しい要因のひとつだったかもしれません。



こちらは向方（森のコテージ近く）のあけび園。南天と比べるとビフォーアフターがわかりにくい...

↓ネギの後は向方と大河内であけびの剪定をしています。1月に講習をしていただいたので思い出しながらやります。さすが、ゆずや南天と比べて複雑で試行錯誤しています。枝がかなり長く成長していてすでに花芽がついていたりするので、伸びてるとはいえ、これを切つていいものなのかと躊躇しますね。芽かきとか間引きとか剪定の初期なんかは、いつもビクビクしている気がします。

1日だけでしたが、道路の雪かきをしました。私が住んでいた実家周辺では雪はほとんど降りません。雪かきの道具など持ったこともありません。ノーマルタイヤで基本的には過ごせるので、スタッドレスタイヤも天龍村に来るまでは着用したことがありませんでした。雪が降る様子は平岡でも何度も拝見していましたが、大河内に行ってみてびっくり。こんなに積もるものなのですね。それでも今年は少なかったという話にさらにびっくり。



公社のハウスに向かう道。まっしろ。

たとえ雪が積もっていても車が通れば溶けるとか、太陽が当たれば溶けるなんて思ってたけれど、ここでは交通量も多くないし陽が当たらない場所も多く、1日で溶けきる量の雪ではないことがよくわかりました。

於保樹の活動報告

林業

針葉樹の搬出が遅くとも4月上旬ごろに終わりそうなどころまでできました。ただ、枝葉や端ころが集まっている箇所なので、思っているより大変そうです。地道に安全に気をつけて進めていきます。伐採箇所としてはもう少しあるので、まだ同じ現場で仕事を続けることができそうです。



針葉樹現場

向方地区の方の依頼で家裏の株立ちした木を伐りました。初めての一人仕事であることはもちろんですが、周りには梅の木や電線もありかなり緊張しました。人力でロープで引っ張れば楽に倒れてくれるかなと思いましたが、引くタイミンがや強さなどうまくやらないとスムーズに倒れないものだと実感しました。最終的に、どこかに当たることもなく無事に作業を終えることができて良かったです。協力して頂いた方ありがとうございました！



作業前



作業後

別で竹林整備の仕事もいただいたので、時間を見ながら進めていきたいと思います。草刈り機の刃を砥ぐ時期がやってきました。頑張ります！

つぶやき

先月の2月21日に老人福祉センターにて林業座談会を行いました。座談会には想定より多い20人の方が足を運んでくださいました。ありがとうございました。素材生産や造林といった現場での話はもちろんなのですが、林業サービスといわれる話もしました。具体的に、草刈りや家裏の整備、また、散歩道やハイキング道を作りたい、子どもが自然と関わる体験をしたいなど色々な話をしました。せっかく提案もあったのでなんらかの形でやってみたいですね。どう計画し時間を作っていくか難しいところです。反省点としては、時間配分は当然なのですが、参加者全員の意見を聞くことができなかったことですね。初めましての方もいたので申し訳なかったです。また、座談会としては数か月に1回行いたいので、改善していきたいと思っています。なので、ご都合が合う方はよろしくお願い致します。



ここ最近、自分が住んでいる向方地区には、大学の同級生や協力隊として、またお試し住宅に仮住まいではあるが同世代が数人やってきてくれた！また、4月から同世代が2人ほど協力隊としてやってきてくれるらしい！移住者として人が増えるのはとても嬉しいですね。ふと考えることとして、協力隊も含め移住してくる方が永住したい！と思ってもらえるためには何が必要かなということ。話や交流をすることが1番にするべきことなのか。わからないが、天龍村に興味・関心を持ってくれた貴重な方なので、どうにか永住してもらいたいですね。今後の為にも仲間を増やしていきたいですね。